

平成 29 年 4 月 4 日

平成 28 年度東京都公民館連絡協議会 第 12 回委員部会記録

記録者：小平市公民館運営審議委員 中村眞一

日 時：平成 29 年 3 月 22 日（水）午後 2 時～午後 4 時

会 場：東大和市立中央公民館

出席者：公運審委員（敬称略）

- ① 東大和市（川村光弘：委員部会長）
- ② 昭島市（大澤俊則：委員部会副部会長）
- ③ 町田市（白崎好邦）
- ④ 小金井市（宮澤もと子）
- ⑤ 小平市（中村眞一）
- ⑥ 日野市（畔上栄輔）
- ⑦ 国立市（大井利雄）
- ⑧ 福生市（関根孝明）
- ⑨ 西東京市（野間春二）
- ⑩ 狛江市（日向正文）

以上、欠席の国分寺市（長谷部豊子）を除く 10 市（名）に、事務局：東大和市中央公民館、宮地氏・内藤氏（女性）の 2 名を加えて開催。

議事次第

1. 開会/前回会議録の確認

東京都公民館研究大会（兼第 2 回委員部会研修会）会議録を確認し、これを了承した。

今回会議録作成者の選任

順番制の慣例に従い、小平市（中村眞一）に委嘱。

2. 本日の議題：都公連委員部会申し送り内容について

平成 28 年度委員部会を終えるに当り、新年度委員部会への申し送り内容案が提示され全会一致で、これを了承した。

申し送り表題 7 項は以下の通り

1. 委員が主体となって運営していくこと
2. 委員部会の状況に合わせた事業を企画すること
3. 記録の重要性を確認

4. 情報交換の時間を持つこと
5. 都公連の動きについて報告すること
6. 要望書の内容について継続して検討していくこと
7. 委員部会運営委員会の開催について

毎月第4水曜午後2時～4時を定例開催日時とするも、毎月1回は当番市以外での開催検討依頼する。

※その他、各項詳細は、別途書面参照

3. 情報交換

各市の課題、対応、方向性等について（例・公民館の活性化等）

東大和市・日野市両市の28年度公民館活動現状について、報告あり。

※年度末委員部会の恒例行事？

社会教育推進全国協議会三多摩支部主催の、「三多摩の社会教育・公民館を豊かにするために」シンポジウム（3/20/国分寺市本多公民館）について

委員部会11名の内5名参加という関心の高さは、委員部会はもとより公運審委員任期満了後の意見交換機会が乏しく、公民館活動の非承継性の原因にもなっていることを表しているとの意見あり。

4. その他（新年度から委員5名が交替）

東大和市主管の委員部会も、今年度（12回）終了を以って新年度から昭島市主管に移行するが、各市委員も各市の任期満了規定などの理由で交替することが発表された。該当者は以下の通り（敬称略）。

- ① 東大和市（川村光弘）
- ② 小金井市（宮澤もと子）
- ③ 小平市（中村眞一）
- ④ 福生市（関根孝明）
- ⑤ 西東京市（野間春二）、以上5名

なお、以下の各氏から、不明ながらも新年度期中に交替の可能性ありとの発言あり、公民館活動の「承継性」課題が、再度話題に挙がった。

- ⑥ 町田市
- ⑦ 日野市
- ⑧ 国分寺市
- ⑨ 狛江市、以上の4市委員処遇は流動的。

また、新年度当番市の昭島市（大澤俊則氏）より、4月度委員部会には、公民館活動の課題を持ち寄り下さいとの要請あり、平成17年度以降の委員部会過去の研修テーマが紹介された。

5月度委員部会会場は、小平市「仲町テラス」見学を兼ね、同所で開催との発表あり。
4月度委員部会に、「仲町テラス」への交通アクセス資料準備要（小平市委員）。

狛江市（日向正文氏）より、「公運審の答申内容が各市のホームページに紹介されている例はありませんか？」との質問あるも、各市からの明解な回答無し。

5. 配布資料（順不同）

1. 第11回委員部会記録
2. 東京都公民館連絡協議会委員部会申し送り事項（案）
3. 「公民館の活性化」（東大和市）
4. 「日野市の公民館活動」（日野市）
5. 委員部会過去の研修テーマ（昭島市作成）
6. 東京都公民館連絡協議会役員当番市輪番表
7. 感想文「公民館の可能性を拓げる公民館運営審議会」（昭島市・大澤氏）
8. まちだ市民大学、発行資料3点
9. くになち公民館だより（図書室月報添え）
10. 公運審だより（福生市）
11. 公民館だより（西東京市）、以上11点

6. 次回開催日 4月26日（水）昭島市（会場・時間、未発表）

以上

